

Ⅲ 資 料

1. 統 計 調 査 員 の 声

山 田 茂（九州大学）

坂 田 幸 繁（ ” ）

西 村 善 博（ ” ）

本調査（「統計調査員調査」）では、調査票の末尾に、自由記入欄（タテ4cmヨコ18cm）を設けて、調査員に意見の記入を依頼した。以下では、こうして得られた意見（合計570名）のうち、その主旨が代表的と思われるものを再録した。論点が多岐にわたるものは、その意見の中心的内容によって分類している。

それぞれの意見をみるにあたっては、次の点に注意されたい。

1. 以下に再録された意見は、大部分原文のままである。ただし、句読点などは文意を変えない範囲で補なった。また個人を特定できる部分については、削除または一般的な表現への変更を行った。

2. 類似の主旨の意見の数を、採用した意見の末尾に「類○例」と付記した。

3. 調査員の声は、その内容によって次の6つに分類した。①調査員の選任、研修、身分、報酬、業務内容など、②調査時期、期間、回数、内容、項目数など、③実査の経験一般、④統計調査のPR、調査結果の発表、統計教育など、⑤調査結果の活用など、⑥配布品、謝礼など。

4. 意見の冒頭に、性別、年齢、職業、居住地の地域類型の順に各調査員の属性（調査票に記入されたもの）をかかげた。下記凡例参照。

凡 例

a. 年 令

表 示	年 令
20前	20代前半：20～24才
20後	20代後半：25～29才

(以下同じ)

b. 地域類型(調査員の居住地による)

表 示	地 域 類 型	第一次産業就業率 ¹⁾
大 都 市	東京都 ²⁾ 北九州市 福岡市	0 ～ 15 %
県庁所在地	熊本市，長崎市 鹿児島市	
都 市 部	上記以外の市・町	
準 都 市 部	第1次産業就業率	15 ～ 30 %の市・町
準 農 村 部	同 上	30 ～ 50 %の市・町
農 村 部	同 上	50 %以上の町・村

注 1) 第一次産業就業率は，1975年国勢調査による。

2) 「東京都」のみは，東京都の調査を担当した都外居住者を含む。

1. 調査員の選任，研修，身分，報酬，業務内容などについて

〔意見1〕 男 20後 商工団体職員 都市部

勤務先の事業推進のために、統計資料（事業所統計，商業統計）が必要の際など，自治体所有の資料を活用している。これらの関係のために自治体から依頼があれば，いやとはいえないが，できるだけ辞退したい。（類1例）

〔意見2〕 女 30前 主婦 大都市

調査員になって，まだ3本の仕事しかしていないが，その都度役所から電話で“やりますか？”という連絡があり，返事をしています。役所からのTELの時，不在だと飛ばすそうです。今まで間違いなく確実にやっているつもりだし，仕事をしたくとも無いというのが現状です。今回は相手に鉛筆を渡して記入をお願いしましたが，いい方法だと思いました。

〔意見3〕 男 60後 無職 準都市部

作物報告事務所とか，統計事務所とか，暇な役所が（戦時中の遺物）たくさんあるのに，いやがる一般人に押しつけて，少しばかりの報酬を支払い笑っている役人の顔を想像する。この次，たのまれても絶対に断る決心／＼ところが現実に今回の農林業センサスも押しつけられてしまったのだが…………。

〔意見4〕 男 50前 学習塾経営 県庁所在地

調査員の臨時の人選をやめ，少数精鋭にし，調査員の品位と質を高め，商業，工業は統計の日と同時に，どちらかを提出するようにする。

問11：指定された調査対象総数の1割（例えば）は，回収不能を認めるようにしてもらいたい。（類1例）

問16：指定統計に協力した者は，税金の申告時，特別控除を認めるようにしてもらいたい。

〔意見5〕 男 60前 自営業 県庁所在地

ひとたび調査員を引受ければ，すべての調査依頼を受けますが，自営の我々は時期的に忙しい季節には商売に大変になります。担当者は広く調査員になってくれる人々を広報あるいは説明会等を催し説得されたらよいと思います。

〔意見6〕 女 40後 主婦 県庁所在地

調査では必ず個人の身上や生活内容にふれることになりますから、調査員は絶対に口の固い人を選ぶべき。この信用があれば、調査もスムーズに進むと思う。（類1例）

〔意見7〕 女 50前 主婦 大都市

問9について……調査員不足との事ですが、私の友人などは、やりたくともなかなか調査員になれず残念がっています。（類1例）

〔意見8〕 女 50後 公務員 大都市

たんなる調査員という事です、だれでも出来る仕事でないから、調査員としての教育をして、記入者と対談すべきで、簡単にだれでも調査員にすべきではないと思う。（類4例）

〔意見9〕 男 60前 無職 大都市

調査実施に当り、説明会が終り、調査用紙を受け取ったあとは直ちに散会する。指定日時に調査票を提出し、手当支給日に出席して受領後直ちに各人立去る。以上が実状で、普通調査員同志の連けいは、なんら無く、自分の指導員も知らない現状ですが、適當の機会を選んで40分ないし一時間位、説明者をまじえ、調査員同志の懇談会を開いて体験など語ることができれば、いい勉強になると思います。

〔意見10〕 女 40後 主婦 大都市

同市の他区から53年3月当地に転居、前任地では15年間従事し、指導員の一人でしたが、こちらでは新人扱いで仕事量がありません。

調査員の質の向上につながるので、研修会で互の経験や助言が得られるように。

初対面の方に安心感を与え、信頼を得、調査をスムーズにやり遂げるのは、すばらしい素質だと思います。もっと優遇して下さい。

〔意見11〕 男 70才以上 調査員 準農村部

統計調査員は、第一線で働く公務員である。室内の冷暖房の下、机上で執務するのではない。風雪雨の中を足を運んで、資料をもらって調査票を作成し、良く照査し、期限内に提出しなければならない。戸別訪問は、官僚的であってはならない。民主的で友愛の中に感謝をし、ざっくばらんとけあって、国や県が求める資料を現場で探求し、卒直に、正確に把握して調査票の上に記入していかねばならない。勿論個々のプライバシーの限界をよく知って、

協力を求めることが――あまりに個人尊重をのみ考えて公益を軽視してはいけないし、公益のみを考えて個人の人權を無視してもならず、その接点に妙味のあることを知るべきであります。統計におけるわが国のレベルが、欧米に劣らぬ発展を遂げるよう更に精進したいと念じます。

〔意見12〕 女 40後 主婦 大都市

はじめて自分の居住地とは全然違う調査区（約一時間かかる）をやりましたので、夜の訪問はなるべく避けました。（53年住宅調査は夜訪問、54年商業調査も夜訪問）。一般家庭の場合、あまり顔みしりより違うものの方が、内容の事もあって、相手は記入しやすい場合もあるようですが、又こちらが何者か信用していただくのに時間がかかりました。

又準備調査から約一ヶ月もたって本調査では、かえって相手に調査の事を忘れさせたようでした。

調査票収納袋（前回もあり）と今回のお礼の品は、調査員にとってやはりそれだけ仕事のしやすい結果を生んだと思います。

国勢調査はともかく住宅調査、就業調査の場合、その家庭に同じ調査を再びお願いする事はまずないと思いますが、それだけにご理解をいただくためには、私どもが調査の内容、その結果、又皆さんにどのようにプラスになるか説明する必要があります。それらの事を勉強出来るチャンスがあれば参加したいと思います。

＊ ＊ ＊

〔意見13〕 女 20後 主婦 県庁所在地

調査員の仕事を4回ほど行なったが、理解してもらいお互いの心が通うまで時間がかかり、又私達の身分を「パートですか」といわれる。身分保証をもっと強く望みたい。又、調査期間中の災害保障なども考えてほしい。自転車をこいでいたり、夜は主人の車に便乗して回収したりするので、交通費支給があるのか、報酬も公務員なみになっているのか疑問に思う。この調査の効果を期待したい。（類3例）

〔意見14〕 男 60前 無職 県庁所在地

調査員の選定については、資格つまり調査員として有能な人で常時調査員として働けるよう制度的に国が考えるべきだと思う。調査内容を確実に把握するまでの能力がなく、統計としての不十分な結果しかあらわせない。職業的配慮も必要ではないだろうか。膨大な金を使

うからである。(類1例)

〔意見15〕 女 40前 主婦 県庁所在地

子供が小さな時から永年調査員をしており、調査に当ってファイトもありますが、調査員の仕事がたまにしかなく、臨時的なので、よい調査員が固定しないと思う。身分的にも数名の調査員は、市の準職員として取り扱うよう要望します。立派な統計調査員が育つと思います。(類7例)

〔意見16〕 男 60前 会社員 都市部

予算の関係もあると思いますが、臨時職では、積極性ならびに責任感が薄くなり、なれてくると収入に見合った仕事しなくなり、徹底した調査が出来なくなる恐れが生じるのではないのでしょうか。

〔意見17〕 女 40後 主婦 大都市

13、4年統計の仕事が続けて居ります。町を歩いて車でハッとしたり、事業所も株式会社とか商事とか名前はきちんとしています、後で考えると〇〇組とかの暴力団だったりします。今年からは任命書が出され、少しは今までとは変わるとは思いますが…。都庁の職員ほどの退職金は要求いたしません、もう少し私達調査員の身になって考え直していただきたい。

＊ ＊ ＊

〔意見18〕 女 50後 主婦 都市部

一年間を通して、いろいろの調査をさせていただいておりますが、調査員の質の向上からも、もう少し身分保証をしていただき、普段から各種の研修会等により研修の場を与えてほしいと思う。調査員26年を経過していますのに、途中まで主人の名前（以前は主人が調査員をしていました）のままで調査員をしていましたので、永続表彰の恩恵もうけられないでいます。たて前だけのものではなく、真実を知っていただきたい。

＊ ＊ ＊

〔意見19〕 女 40後 主婦 県庁所在地

調査によっては報酬が3ヶ月づつまとめて支払れる。このようなことはやめてほしい。事前に全額支払の方法や、基準の説明をしてほしい。

〔意見20〕 女 50後 主婦 県庁所在地

働いた報酬の支払が遅いと思います。締切の日より2週間位で支払れたら、と皆いっている。フリーな仕事といっても、一応これを職業として永年従事している者には、手当の支給が給料として生活の収入となるためです。(類4例)

〔意見21〕 男 20前 公務員 都市部

調査業務に対する報酬が少ないと思う。最近は共稼ぎが多く、夜の訪問がかなり多くなっている。また個人の自己主張、権利の主張が強いため、精神的な苦勞が大きい。調査依頼から調査が完了するまでは、訪問回数が多く、訪問の時間などについても、接しかたにしても、かなり気を使わなければならない。(類9例)

〔意見22〕 男 50前 日雇い 大都市

日々の生活の安定となる保障給がほしいと思います。これは問9に関連する事と思います。調査員に対しても、被調査者に対しても同じ事で臨時的だから正確に書くのを辞す言動を感じます。身分に不安があるからだと思います。

統計調査員のユニホームやバッジ、写真付きの誰でも分る服装を与えるべきです。例えば、私物自転車ではなく、局のネーム入り等一見して調査員であることを、印象づけるものです。勿論その時点での広報も大事ですが。

〔意見23〕 女 40後 主婦 大都市

県関係の報酬も市区役所と同じようにしてほしい。基本給+件数+交通費=報酬 県関係は調査区毎だけで、件数とか全然関係なしというのは、不公平のように思う。特に毎勤の特別調査で、サービス業のビルなどの場合はとても大変だから。

〔意見24〕 女 50前 主婦 大都市

①調査する度に調査区が変わりますので、できることなら調査区をなるべく統一して下さると良いと思います。(家のなるべく近い地区を希望します。) ②調査員として活躍したいので、出来ましたらもう少し担当回数を増して下さい。いまは1年に2度位です。

〔意見25〕 女 50後 集金人 大都市

地区により、たとえば飲食街等は大変やりにくいように思います。

〔意見26〕 女 20後 主婦 準都市部（山間の温泉）

私の担当地区は、我が家から歩いて全て10分以内の所ですから、近所のことを知るには良い機会だったと思います。でも私の地区はホテル街ということもあり、勤務時間はバラバラで苦勞しました。田舎では、やりやすいでしょうが、都市では大変だろうと思いました。

〔意見27〕 女 40前 主婦 県庁所在地

住宅の増えている区画は、一区画を二区画か三区画に割ってほしい。それが出来ない場合は戸数によって、報酬を支払ってほしい。

〔意見28〕 男 60前 嘱託 県庁所在地

(1)調査区域の境界線は、道路等にする必要がある。適当に区分されては境界を探すのに時間を浪費する。（類1例）

(2)調査票をお願いする時、相手次第で嫌な顔をされると調査員自身苦痛を感じ、もう調査員はしたくないと思うことがある。

〔意見29〕 男 60前 自治会長 県庁所在地

①自分の町内の場合は、よく協力してもらえる。知らない地区は調査員になりたくない。

②商業統計調査が一番協力が悪かった。③調査用紙は封筒に入れて配布した方がよい。

〔意見30〕 女 50後 主婦 大都市

二調査区を受持った場合、各調査区間はなるべく近い所をお願いしたいと思います。

＊ ＊ ＊

〔意見31〕 女 40後 主婦 大都市

毎月調査の仕事をさせていただいたら、ありがたいです。（類1例）

＊ ＊ ＊

〔意見32〕 男 60前 農林水産業 農村部

調査員証明書は、総理府統計局発行のもの以外に地方自治体の証明が必要である。

〔意見33〕 男 60前 会社員・大都市

現在、統計調査員は身分証明書を所持するようになっていますが、これよりも、腕章とか認識票のような一見して調査員ということがわかるようにしたらよいと思います。

〔意見34〕 女 50後 無職 都市部

臨時職なれど、やはり交通費の支給をお願いしたい。歩いて行く所の調査はよいのですが、どうしても乗物を利用しなくてはならない所は是非お願いしたい。遠い所を受持った時は1回ではなく、2, 3回と回収に廻る時は、1枚いくらの手数料では足が出る時があります。

(類4例)

〔意見35〕 女 50前 主婦 大都市

交通費等、遠近に応じて支給すべきだと思う(現在は均一支給)。調査地区により相当差が出る場合がある。前回は支給額の3分の1が交通費。

〔意見36〕 女 50前 主婦 大都市

電車代、バス代が、以前とくらべて大変かかるので困ります。回数券でもなんとかしてもらえたら幸せです。留守の家が多いことと、インターホンには泣かれます。統計調査の大切さをもっとPRしてほしいです。

＊ ＊ ＊

〔意見37〕 女 40後 主婦 準都市部

調査員として引受ける事は、大変な事と思います。調査員にもピンからキリまでと存じますが、徹底した調査をすると思うなら大変な事です。

調査員として調査相手に感謝の心で、お伺いしたたびに、調査を終えました時ほど、うれしく社会奉仕の感を身にしみて思われます。時にはどなられ、口でののしられいやな思いをします。でも世の為、人の為、国の為の真心からの調査をと存じます。もしこの調査結果が少しでもテレビの画面にでも報道されるなら、調査相手の方々の心にゆとりが出来る様に思われます。

〔意見38〕 女 40後 主婦 準都市部

商業調査の場合等、客かと思って「いらっしやいませ」とにこにこ顔でいって、調査員だとわかった時のえんま顔。調査員なればこそ、こないやな思いをせねばならぬのかと痛切に思い悩む時もありますが、困難な時ほど、調査が完了した時の喜びは、またひとしおです。
(類4例)

〔意見39〕 女 40後 主婦 準都市部

私は対人関係のむづかしさが、かえって自分の為になるような気がします。相手に不快感を与えないようにと真剣に取り組んでいる時は、報酬のことなど頭にありません。(類4例)

〔意見40〕 女 50後 主婦 県庁所在地

「引受けた動機」社会勉強とサークルで経済学を学んで。

主婦が直接に世間に接する窓口と思えば、非常に興味ある仕事だと思います。しかし年を追って調査環境は悪化するため、説得力その他ある種の面接技術的なものの必要性も感じます。単にアルバイトとして従事するのではなく、プロの調査員の養成も必要となってきたのではないかと感じます。(類3例)

〔意見41〕 女 50後 主婦 大都市

個人対象の調査は、相手が逃げよう逃げようとする。(主人と自転車で夜間いったり)また肩すかしかと、33件の中、2, 3件ですが、収集出来なくてもそういう対象ほど、かげの労力が多い事を理解していただきたく申し上げました。商業統計は20年近くさせていただいています。

〔意見42〕 女 30前 主婦 都市部

何度も足を運び誠意を示してやっと協力をお願いしたり、今からはあまりやりたくない仕事だと思っています。苦勞の多い仕事でした。(類1例)

2. 調査時期、期間、回数、内容、項目数など。

〔意見43〕 男 20前 公務員 農村部

山間の農林地帯という特質上、職業記入等、農業を自営する世帯が殆んどで、種類とか内

容とか、様々で、収入の多い方を記入せよという指示ですが、季節ごとに変化します。収入の面も考慮しなければならないのですが、従事日数、労働状態等で区別してはどうかと思います。

〔意見44〕 男 50前 自営業 県庁所在地

殆んどの調査に収入の欄があるので苦になる。断られる時が一番がっかり来る。調査の内容をもっと簡単なものにしてほしい。

〔意見45〕 女 40後 主婦 県庁所在地

8年前位から殆んどの調査をやってまいりましたが、年々複雑になっていくような気がします。あまり内容が多くなると嫌がる人が多くなります。商業、工業調査のように、印鑑が必要な調査は抵抗があるようです。今回の調査には殆んどの世帯が協力的で、1～2回の訪問で調査票が集りましたが、調査によっては5回以上訪問する事が多いです。

〔意見46〕 男 30後 農林業 都市部

統計上 unnecessaryな項目があるような気がするので、もう少し質問項目をしぼってほしい。（類8例）

〔意見47〕 女 40後 主婦 大都市

問12の所でも書いたのですが、国勢調査は近所の人とする事が多くなります。その場合、親の学歴などのことで種々問題が起こるケースがあり、これが調査員不信につながります。学歴、収入などは別に密封用封筒で役所へ直送するなどの配慮が必要です。

＊ ＊ ＊

〔意見48〕 男 20後 公務員 県庁所在地

今回は特に選挙があり、困難なところがありました。①調査日数が少なかった。（類1例）
②誤解を招くような事が少しあった。

〔意見49〕 男 20後 公務員 準農村部

調査時期の問題ですが、春から秋にかけてを調査の季節にしてほしい。私は公務員で、勤務時間が8:30-17:00で、その後はほとんど夜訪問調査をしなければなりませんので、夜の長

い方がより多く調査でき、相手方にとっても失礼になりません。それは夏だったら10時近くまでよいが、冬は9時までに行かないと調査ができないからです。経験的意見です。

〔意見50〕 男 70才以上 無職 県庁所在地

盛夏の調査は激労と思われる。時期について一考を乞う。

〔意見51〕 女 50後 主婦 県庁所在地

調査の時期、他のはまあまあですが、工業調査が12月31日現在なので、職業柄忙しい時であり、又何よりも3月15日青色申告前であるので、一番実情がつかみにくい時である。これを税申告後にすれば、誠に書きよく、又そう忙しくもないとの声をどこでも聞く。是非3月末以後にしてもらいたいです。

〔意見52〕 男 30後 公務員 準農村部

就業構造基本調査に当たりましたが、10月という時期でもあり、早く暗くなってからの調査（個別訪問）でしたので、夕方協力を求めても協力してくれない世帯があったり、夜依頼に行っても、ぶっそうな世の中のためか一人世帯など応答してくれないこともあった。

〔意見53〕 男 20前 公務員 農村部

今年度就業構造基本調査をして思ったことですが、私の調査した地区は農家が多く、今回は農繁期と重なったせいか、農家の人に調査に対しての印象を悪くしたみたいである。これからは、調査時期を考えて、実施してもらいたい。（類3例）

〔意見54〕 女 30前 主婦 県庁所在地

会社の決算期にかかるような調査は、時期をずらしてもらいたい。（調査員が訪問しづらい。）

〔意見55〕 女 50後 主婦 都市部

最近共働き世帯が多く、夕方から夜間遅くなるので、10月ではなく、時間の長い7月がよい。今度の調査は夜に調査した。

＊ ＊ ＊

〔意見56〕 女 30後 主婦 準農村部

近頃、調査が多いから、年に1回か、5年に1回にしばらく内容を全調査にまたがる項目を取り入れ大型調査をされたし。（類6例）

〔意見57〕 男 30前 公務員 準都市部

調査項目について、同じような質問があるように思うので、関係する各省で検討してほしい。例えば就調と国調があまりに、似ているようだ。また商業統計についても、売場面積とか商店の開設年などその調査のたびに記入してもらわなくてはならないので、対策はないものかと思います。（類3例）

〔意見58〕 女 30後 主婦 県庁所在地

ほとんどの調査内容に示されている通り、なかなか困難な場合があります。調査の種類があまりに多すぎて、「またか」という声を聞きます。報道機関等を使い、事前に認識を強めていれば、ということもあります。調査は今回で終わりたいという人が多いですし、仕事に対してというか、報酬とかではなく、世帯の認識の薄さと思います。

〔意見59〕 男 20前 公務員 準農村部

私も何回か調査員として働かせていただきましたが、私の町でも調査区域が重複し、調査内容は異なっても、同じ世帯に何回も行かなければならなくて、気を使うようなことがありますので、くじびき方式にも、少し問題があるよう思うのですが……。 （類2例）

〔意見60〕 男 60後 無職 大都市

労働省、通産省の統計調査がダブッているという非難の声がしばしば事業所から聞かれます。

〔意見61〕 女 30後 主婦 大都市

家庭や企業をまわっていて、国勢調査のように何年に一度かにしてほしいとか、あれこれ調査が多すぎるという苦情が多い。又生活水準が平均的と思われる家庭はスムーズに答えてくれるが、より裕福やより貧困だと非協力的な傾向がある。（統計の調査結果が自分たちの生活に関係ない——裕福。統計に期待がもてないからだと思う——貧困）

〔意見62〕 女 70才以上 無職 大都市

同一の家庭や企業に調査が重複しないように出来ないのでしょうか。当たる所は重なってよく当たるようなことをよく聞きますので。殊に人手のない小さな企業等は、重なり合った調査用紙を見せられますと、役所といえども相手の立場にもう少し配慮があってもよいのでは、という感じがいたします。調査をもっと統一出来ないのでしょうか。

〔意見63〕 女 50前 主婦 大都市

類似の調査が多いので、調査の内容については、それぞれ活用したらよい。調査内容の税金とのかかわりは一様に嫌うが、その他の事については利用したらどうだと、対象者からよくいわれる。合理化の必要を感じる。

ある商店で、「商業調査のような売上金とか資産に関する調査を、顔見知りによられると困る。私はその時は嘘を書いて出す。こんなことで正しい統計が出来るわけがないよな」といわれた。私はさいわい知らない地区を担当したのだったが。

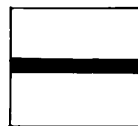
＊ ＊ ＊

〔意見64〕 男 20前 公務員 準農村部

記入の仕方が複雑で、調査員は納得するが、各世帯にそれを説明して、正しく内容を理解してもらわないとスムーズに記入が進まないの、特に今回の調査を例にとると職業別の細分化をはかってほしい。（類2例）

〔意見65〕 男 20後 公務員 準農村部

1. 調査票マークを大きく



2. 活字を大きく

〔意見66〕 男 30前 公務員 準農村部

現在の統計調査は、集計しやすいように調査票を作成してあるが、もっと調査対象者（記入者）側に立って調査票を作成していただきたい。

1. 該当するものにマークより○の方がよい。（マーク式の場合いやがられる）（類2例）
2. 字が小さい。3. 折ってもよい調査票

〔意見67〕 男 20前 公務員 準農村部

就業構造基本調査などは、調査票を配布しても、どういう風に書けばいいのかわからず書いてないところがあるので、また聞き取りに行かなくてはならない。裏表にギッシリと、調査内容がいっぱいなので、一般の人はめんどくさがる。調査員もまた聞きとり中、あっちへ飛び、こっちへ飛びで非常に質問しにくい。そして重複したような質問もあり、統計の大切さもわかるが、統計内容・調査内容 簡素化に努めてほしい。

〔意見68〕 女 30前 主婦 大都市

調査がだんだん複雑になってきます（見た感じでそういいます）ので、協力を得るのに（私共はそうも思わないのですが）苦勞します。又役人の公金使い込み等を私達にも関係あるようにいわれたり、「そんな人達のために協力は出来ぬ」みたいなことになります。今回のように、書き込み用の鉛筆、御礼のボールペン等は、多少なり協力を得る役に立つこと、よかったと思います。

〔意見69〕 女 50前 主婦 都市部

1. 大体に若い人より60才位からの人が書類をただでわからないと答える人が多い。
2. 書類が複雑になる程いやな顔をされる。

〔意見70〕 女 50後 無職 大都市

調査目的、記入の仕方説明が大体において面倒な説明の仕方である。もっと一般的に簡単にした方がよい。調査員でさえ、ただで頭が痛くなる程の時もある。（類17例）

〔意見71〕 女 40前 主婦 大都市

協力して下さる世帯に対してきめ細かな配慮をして欲しい。資料の文字を大きく（年配の方が多いので）。単に予算が無いからという理由で、報償品や、下敷の品質を落とさないで下さい。（生計調査）指導員の方の調査員に対する指導を統一して下さい。

＊ ＊ ＊

〔意見72〕 男 60後 農業 県庁所在地

私は地方公務員を退職後、農業に従事しております。私の調査区は殆ど農村地帯であり、各種の統計調査にあたり記入事項については、統計以外の資料には使用されない旨説明して

も、真実が記入されていないよう見受ける場合が多い。したがって正しい統計資料として欠ける面も出てくるようである。

〔意見73〕 女 30後 主婦 大都市

調査項目に必ず収入面についての質問がありますが、プライベートな面ですので、調査員として一番困ります。答えてくれても本当のことかどうか。この数字が統計として出ると思うと、あらゆる統計までもが、むなしいものに見えてきます。(類4例)この場合、市町村機関に年末に申告する書類を利用できないものかと常に思います。この項目がなければ、もっと調査がスムーズにいくと思いますが…………。

〔意見74〕 女 40後 主婦 大都市

①問12 (1)を選びましたが、ふれてほしくない部分に対しては、正確な答は絶対は期待できないと思う。

②どんな調査の場合でも自分が内容を把握して自信を持って相手に説得する事が大切と思う。

〔意見75〕 女 40後 主婦 大都市

何回かの調査で感じたんですが、「税金に関係するのでは」と調査の上で少し金額なんか少なく出しているように思います。又、奥さんも働いていても、家にいるように書いている人も、時たまあるようです。

〔意見76〕 女 50前 主婦 大都市

収入の記入等の調査になると、本当の数字を書きません。私達調査員が明らかにウソと思いますが、その事をいわれないのが残念です。(類3例)それでも正しい統計ができるのでしょうか。他に良い方法はないのでしょうか。(商業調査に多いようです。)(類6例)

3. 実査の経験一般

〔意見77〕 男 30前 公務員 準農村部

現在、配布→自筆→回収ということで調査をしています。高令者等もあり、聞き取り調査(調査員記入)が妥当と思われる。

〔意見78〕 男 30前 公務員 準農村部

統計調査が、マル秘であっても、調査個票に氏名を記入すべきでない。（一覧表をつくり、番号のみ入れておく。直接わからない様にする）

〔意見79〕 女 50後 民生委員 県庁所在地

今度の調査で一番困ったのは、隣り近所もですかと聞かれ、どうして自分の家に当たったのかと聞かれた。今後は一列か何軒か集まった箇所にした方が良いと思います。

〔意見80〕 女 30後 主婦 大都市

現在、主婦の方でもパートも入れて70%位の方が、勤めておられる様で、今回の調査も用紙配布、また回収もほとんど夜行った件数が多くありました。今回みたいな調査は、どうしても会えない時は、電話調査しても良い位の内容では、と思いました。簡単な調査などは電話調査でも結構できることもあります。

〔意見81〕 女 50後 自営業 大都市

独身、大学生の一人住い、夫婦共稼ぎが多いので、不在者調査票を増して欲しいと思います。

〔意見82〕 女 50後 主婦 大都市

調査票配布に非常に時間がかかった。書類を留守宅にポンと置いておいて調査ができるものではないので。理解してもらって調査票を受取ってもらうのに時間がかかる。最高7回たずねて、やっと受取ってもらえた世帯もある。（類3例）

〔意見83〕 女 50前 主婦 大都市

今年の10月から就業構造基本調査が行われまして、私は二調査区を担当致しました。その中の一調査区は官庁の宿舍で、独身男性の寄宿舍でございました。ここは管理人・寮母世帯も同宿しておりまして、外部の者は管理人に面接し許可を得ないと一歩も中へ入れてもらえません。それで各部屋毎に訪問面接することが不可能な状態で、入口の玄関ロビーにある寄宿生の名札も交番の巡査さんに見せないとか。

また各部屋を訪問できたとしても昼間は勿論、夜間、日曜日とて、若い単身者に面接できる可能性は極めて少ないので、全てを管理人にお任せすることにしました。そのため合計6回訪問した内3回は手土産（合計2,700円）を持参してお願いしました。

〔意見84〕 女 40前 主婦 大都市

再三訪問しても留守の世帯は、日頃近所づき合いもないので、依頼の方法がない。（不在世帯用）封筒、用紙など入れて来ても非協力で調査不能となる。面接できれば、ほとんどの調査は可能である。

〔意見85〕 女 40後 主婦 大都市

単身者世帯の場合、遊びに行き帰りが不規則であったり、夜勤等もある人に面接することが、非常に困難であることを痛感いたしました。また共働きの人など日中は仲々会えず、朝早くや夜遅く等、何回も足を運ばなければならないので、本当に大変だと思いました。（類4例）

〔意見86〕 女 50後 主婦 大都市

単身者で電話の無い方に連絡できないで困りました。こんな場合は予備世帯を何世帯か出してもらわないと、夜遅い訪問となり、風紀上好しくありません。ご考慮下さい。女性の調査員の場合は、特に考えさせられます。（類1例）

〔意見87〕 女 40前 主婦 大都市

一軒記入してくれないため、早朝とか夜8時すぎとか伺っても、約束の日にも伺っても記入されておらず、お願いの紙も7回位入れました。約束の日には祈るような気持ちで回収に行き、記入されていない用紙を子供につき出され、全く一軒の家のために大変今回の調査には苦勞しました。今後種々の調査も昼間は共働きが多く、夜にかけて行かなければ回収できないと思います。遅いとモンクをいわれますが。

＊ ＊ ＊

〔意見88〕 男 60後 無職 都市部

統計調査の意義を義務教育で教えておく事が一番望ましい。丁重に下手に出て協力を依頼すれば、調査を拒む人は少ない事を、幾十年の経験で確信している。

〔意見89〕 女 50後 無職 都市部

問16 何もかも税理士まかせにしている場合、調査票記入にも代金がいるらしいので、その分税金控除の対象にするなどの方法はないものか。（類1例）各事業所、各家庭は色々な

調査におわれているのです。事業所名，所在地，電話番号と，どの用紙にも書きこまねばなりません。各省庁は横のつながりを密にし，内容を省けるだけ省いてほしい。

〔意見90〕 女 50前 主婦 大都市

対象世帯が決定した段階で，ご本人宛の役所からの依頼の葉書を出していただくと大変有効ですし，先方が安心します。当節は大変の家庭が用心深いですので，突然お願いするという感じがなくなりますので，調査員は助かります。（類5例）ポスターは不用と思います。その代りハガキにしてほしい。私たちが書きますから。

〔意見91〕 女 30前 主婦 大都市

統計調査に協力をしていただく上で，問16①をもっと一般の方々に判り易く知らせてほしい。声として入る言葉は「いつも同じ様な調査をして見返りが無い」です。特に事業所，商業調査で耳にいたします。商業調査は前回の結果が出ておりましたが，大変調査がしやすかった。

〔意見92〕 女 50前 主婦 大都市

非協力的な人達に何か強制的にやれる方法があればと思っています。（類1例）お伺いしても，マンション等は隣の事を聞いてもわかりません。非常に困りました。

〔意見93〕 女 30後 主婦 大都市

統計調査は町会等を通してする方が，より効果的だと思います。水をかけられたり，保険の外交と間違えられたり，また税務署から回されてきたのかと思われたりして，とても大変でした。

〔意見94〕 女 40後 主婦 大都市

この調査が，今後の統計調査に，実際に生かされますことを祈ってやみません。今気づいたこと——これは調査依頼を受ける世帯の共通の願いだということです。自分の協力が実際の政治や行政に生かされたという実感／これこそ統計事業を，円滑に運んでいく原動力になると思います。迂遠な道ですが，そんな未来を信じたいと存じます。

〔意見95〕 女 40前 主婦 大都市

ただ単に「お願いいたします」ではなく，この調査が何に必要であるか調査員自身も自覚

をもって、協力を依頼するという態度で接すると協力が得られると確信いたしています。
もっともっと行政の中で生かして欲しいです。

＊ ＊ ＊

〔意見96〕 女 20前 主婦 都市部

私は調査員となりましてから、まだ2つの調査しか担当しておりませんが、各家庭を回って見て、一番感じます事は、日本人というのはなんと非協力的で、不まじめなんだろうという事です。「しかたがないから適当に書いとう」とか「税金の多くならないように少なめに書いとう」といわれる家庭が多いのにびっくりします。もっと住民、国民一人一人に統計ということばを認識させる必要があるんじゃないでしょうか。

〔意見97〕 女 40後 主婦 都市部

調査が定期的なもの、例えば、商業調査、工業調査等は協力しない人はまれですが、標本調査の場合は、相手に理解してもらうのに苦労します。区域を標本抽出して、全家庭を軒並みに（標本調査にならないかも分らないが……）した方が「隣の家も書く」といった安心感みたいなものがあって、協力してくれるような気がします。

就業構造基本調査では、共働き家庭へ夜行って、「何で忙しいのに、うちが書かなければならないか」と夫が説明もろくに聞かず玄関の電気を消してしまい、「帰れ」と一喝され、妻のとりなしで聞き取り調査はしたものの命のちちまる思いをしました。

〔意見98〕 女 40前 主婦 大都市

問15の続きになると思いますが、調査世帯の中の一軒がことわると、この人が近所の人達に話し、連鎖的にことわる人が多く出る傾向にあります。その人達への対策は何かないでしょうか。

〔意見99〕 女 30後 区役所委託職員 大都市

現在、給料、公共料金等々あらゆる支払いが、振込、銀行払いになって、人と人とのつながりが薄れてきたようで、セールスと間違えられたりして、人と話すのが、おっくうになりがちな人が増えたようです。

〔意見 100〕 女 40後 主婦 大都市

たしかに非協力的な方が3分の1位います。そういう方は納得していただくまでには、かなり時間を要します。市の広報紙や新聞等で協力をお願いをよく見ますけれど、訪問した先では、あまりそういうものには、目を通していないようです。商業、工業では、前に何回か協力している方は、協力度が高いのですけれど。

法律できめられている事であれば、強制するのではなし、法律を守っていただくよう、また自ら進んで協力に応じるような教育が必要ではないかと思います。（協力的な方も沢山いますけれど）

〔意見 101〕 女 40後 主婦 大都市

問5の回答は、一番最近の調査についての回答だったので、あのような好回答になっているが、労働力などの場合は、共稼ぎ世帯が多く、夜遅い訪問や、5～6回訪問するところは何軒もあります。又引受ける地域によって日中留守がちな世帯の多いところや、非協力世帯が多い場所があります。商業調査など飲食店街にあたると大変です。

問16でいったように、市の広報紙などでもっと徹底しておく、義務感として受け入れてくれるのではないのでしょうか。

〔意見 102〕 女 30後 主婦 大都市

若い層（年代）の方は、非常に役所に対して不平不満を持っていて、書いても報酬ももらえないので、協力できないとかいう声が意外に多く出てきている。

〔意見 103〕 女 30後 主婦 大都市

調査票の回収に要した訪問回数は、回収日を約束するため少ないが、配布時の回数は対象者に仲々会えないことが多く、数字が大きくなると思います。（類1例）

〔意見 104〕 女 40前 主婦 大都市

病人家庭や貧困家庭で愚痴（政治のあり方が悪い）をこぼされるのは、時間がかかるし、気分を悪くしたら協力してもらえないのには困る。（類2例）

〔意見 105〕 女 40前 主婦 大都市

民間、国の統計調査員をして7～8年になりますが、たしかに調査が難しくなっています。民間の調査の場合は、拒否家庭が多く、又それ故に私は民間のリサーチをやめました、国

の調査は非常にしやすく、一般家庭、中小企業、地場産業は協力的です。これに反して、中央の大企業の支店、国家公務員等理解度が悪く、仕事はしにくいです。

〔意見 106〕 女 40前 主婦 大都市

面識のない一般家庭に頼みこむ事は、かなり勇気がいります。非協力な人に再び扉を開かせる事は困難で、何度も声をかける事は、みじめなものです。それに慣れるまでかなりの年月がいります。非協力者の理由に、国の政策、市政の不満、役人に対する反感がかなりあります。そのやり場のない不満をまともに向けられるのは調査員です。総理府統計局のヤミ給暇等もっての外。回収も勿論ですが、記入依頼の訪問も夜間かなり通います。留守家庭用の調査票を使用するのは、二、三度訪問した後です。面接の方が相手にも受け入れてもらいやすいし、又そうすべきと思います。

〔意見 107〕 男 30前 公務員 準農村部

労働力調査を3年余り続けてきましたが、最近は面倒だ、暇がないとかで聞きとり式でやる方が多い。調査も、それをやって果して効果があるのかという疑問をもつ人が多いと思う。又、収入、所得の事をたずねると本当の事を述べない方が多い。もっと正確に把握できるよう調査内容も考慮する必要があるのではないかと思います。

〔意見 108〕 女 30後 主婦 準都市部

学問が多少優れている（たとえば大学卒）人にかぎってりくつをいう。自分が何でも知っている、といって素直に協力しようとしないうである。

〔意見 109〕 女 50前 主婦 県庁所在地

調査に協力が得られるか否かが、一番苦勞する事であり、もっと皆が法律で答えなければならないと、義務付けてある事を知ってもらう事が必要であると思います。協力してもしなくても、たいして変らない今の現状では、断った方が得だと、とられても仕方のない事と思います。最近は門前払いとでもいいますか、全く面接出来ない世帯がふえてまいりました。それに対応するためにも、問15の1と2の必要性を痛感いたします。何のためにするのかという事を、新聞やテレビ等でも知らせたらよいと思います。

〔意見 110〕 女 40後 主婦 県庁所在地

アパートの調査が一番苦勞です。（類2例）管理者が表札を必ず入口に付けるとか、住人

の氏名、年齢、家族の実態などの記録をもっていて、調査員が証明書をみせた時点で協力してくれるとありがたいと思う。

〔意見111〕 男 30前 公務員 準農村部

都会に比べ町部では、ただ面倒だという事で、調査票の回収がおくれているみたいです。

〔意見112〕 女 40後 主婦 県庁所在地

自信と責任を以て世帯に依頼、再度懇願しても必ず不賛成が1～2世帯あり、市役所にその旨報告。提出の末、市役所よりの調査にて簡単に協力される。このような時ほど（誠意が無視され）悲しい事はありません。

〔意見113〕 女 40前 主婦 大都市

アパートに入居している人が非協力であり、又家主が「個人の秘密はいえない。」と非協力的場合が、だんだん多くなってきた。地域差もあるが、高級マンションの人は、権利を主張し、小さなアパートにいる人は、理解がないのと、自分の生活が知られる事をとていやがる。国でもっとPRをしてもらいたい。

＊ ＊ ＊

〔意見114〕 女 30前 主婦 都市部

商業統計調査の時に経験した事です、店舗が経営不振の方が、「なせ恥をさらすようなことをするのか」とけんもほろろに追い返され、とまどう中で再度訪問してもらえません。この場合に思った事です、法律かなんかで義務付けられたら、仕事がやりやすいのでは……と思いました。

〔意見115〕 男 70才以上 公民館主事 準都市部

商業統計調査で売上額の把握が困難である上、在庫額を本人が知らないため正確が期しがたい。総ての調査で本人の収入に関する点が一番困却するので、この点考慮を要すると思う。税金関係でないと説明しても、疑念は去らない。

〔意見116〕 女 30後 主婦 県庁所在地

商業調査等は1年おきにありますが、大きな所は事務員がいるので良いのですが、個人の

お店は事業主が夜遅く店を閉めてから書く事になって、朝が早いと記入漏れ等があって、聞取調査が多くなるため、3年に1回ぐらいにしたらと思う。

＊ ＊ ＊

〔意見 117〕 男 40後 公務員 農村部

当町は、あらゆる統計調査に住民が協力的であるため（顔見知りが多い）、問8以降の質問については、具体的な経験がない。（類2例）

〔意見 118〕 女 40前 主婦 準都市部

田舎で顔見知りが多い関係で、調査の方は、心やすく協力していただきました。でも調査内容が理解されておらず、何回も何回も説明しなくてはならず、困りました。事前にテレビ等で詳細に説明されればと思いました。

4. 統計調査のPR、調査結果の発表、統計教育など

〔意見 119〕 男 20前 無職 都市部

できるだけ調査に協力してもらうために、もっと統計の重要性（例えば、どのように役立っているか、なぜ調査するのかなど）をあらゆる方面からPRしてほしい。（類46例）

〔意見 120〕 女 40前 主婦 都市部

調査ごとにテレビ・ラジオで放送・宣伝してもらって、調査員の仕事をもっとやりやすいようにするなり、政治により生かし、誰もが喜んで参加し、協力できるよう図ってくださることを望みます。（類6例）

〔意見 121〕 男 60後 無職 大都市

最近新聞紙上とか市の公報紙などで事前に承知しているという人が割合に増えて、調査の際協力的な人がいるので、調査がスムーズに行くことが多くなったのは、有難い。もっと徹底することを希望する。

〔意見122〕 女 40前 主婦 大都市

個人の方の協力が得られないのは、PRが足りないからだと思います。新聞の片隅や、市政だよりの何行位では目につきにくいのです。（類4例）事業所の場合、同じような調査が国や県、市等から来るので、受ける方は不満のようです。その数字を出すまでがとても大変なのです。せめて時期を揃えて、枚数は多くても一度で済むようにできないのでしょうか。

〔意見123〕 女 30前 主婦 大都市

調査の対象や内容等、もう少し早くから公表すべきと思う。そうすれば、選ばれた会社、個人とも理解していただけて、期間内に回収できると思う。（類2例）

〔意見124〕 女 40後 主婦 都市部

国勢調査の場合は、ほとんどの人が知っていて、割と調査がやりやすいように思います。（類5例）他の調査も、もっとPRして、工業調査など（又は標本調査などの時）のように数の少ない調査の時など前もって、市の方からハガキでも出して連絡しておいていただければ、本当にやりやすいのではないかと思います。

〔意見125〕 女 30後 主婦 農村部

調査結果を、テレビ、新聞等でもっと詳しく知らせるようにしたらよい。例えばテレビの場合、結果をもとに学者を含む討論会を持つなどすれば、国民の関心はもっと高まり意義ある統計資料になると思う。

〔意見126〕 男 60前 無職 農村部

調査結果をよく知らせる事が大切だと思います。数字は人を説得する力が大きいので、もっと統計調査を見たり研究するようになりたい。そのためには小中学校より統計の大切さを指導する必要があると思う。政治に生かしてほしい。（類2例）

〔意見127〕 男 20後 公務員 準農村部

調査の折、対象世帯は税の資料にするのではないかと不安が強くあらわれているので、広報、パンフレット等により、啓蒙する必要があると思われる。

〔意見128〕 男 40後 自営業 準農村部

国民には「協力しなくても済むのではないか。協力者は馬鹿を見る」という考え方がほと

んどです。テレビ等で、もっと統計調査は絶対国民の義務だという義務感をアピールしてほしい。

〔意見129〕 男 20後 公務員 準農村部

国の調査も種々あるが、ようやく国勢調査が人々の間に浸透しているのみで、他の調査については知られていない。調査前のPRも必要であるが、調査後の結果をどう生活の中に生かしたのかというPRが不足しているように感じる。

〔意見130〕 女 40後 主婦 準都市部

私達は生まれて死ぬまで統計の中で生活しているといっても、言い過ぎではないと思います。「統計の日」があるのを最近知りました。もっと統計がいかに皆の生活の中で大切であるか、必要であるかをPRすべきだと思います。

〔意見131〕 女 30前 主婦 大都市

問15, 16に関連しますが、国民は調査に協力する義務があること（法律）を、誰一人知っている人はいません。私自身、調査手引書をみて法律に定められていることを見た時、「何でそんな法律が」と頭にくる思いがしました。もっとマスコミでも、報道すべきだと思います。

〔意見132〕 女 50前 主婦 大都市

この頃民間の調査が多く、世帯が簡単にことわればよいという頭があります。国勢調査のように必ず答えなければならないというPRがあったらよいと思います。

〔意見133〕 女 70才以上 調査員 大都市

調査前にテレビで報道してほしい（いく度も）。なお地域の出先官庁（区、町会）で掲示してほしい。今度の就業構造の時でもはり紙に苦労した。交番等の前の掲示板に張らしてもらおうと思ったが駄目だった。町会の掲示板は一カ所しか見当らず、あとは全部個人の家に頼んだ。

〔意見134〕 女 20後 主婦 準農村部

一方的に調査だけでも、それが現実にどのように役立っているのか、住民は皆目わからないと思う。それで、今後の協力を得るためにも、結果を調査対象者に報告する方法を講じ

たらよいのではないかと思う。つまり、「自分たちの協力が、自分たちの生活の向上、幸福の追求に役立っているのだ」ということを直接感じるように。

〔意見 135〕 女 40前 主婦 県庁所在地

申告の数字に対する信頼度は、果してどれ位のものかと思う。調査員としてその結果に関心をもつが、県・ブロック段階位で、早期に一般市民も知り得る態勢になると、より調査に協力を得られやすくなると思う。

5. 調査結果の活用などについて

〔意見 136〕 男 20後 公務員 準農村部

調査に非協力的になっているのは、共働きが多くなり、比較的夜間部に調査がおよぶことが、その理由と思われ、調査結果後の統計の活用があまり表面に出ていない。一部関係役所だけのものになっている。

〔意見 137〕 女 40前 主婦 大都市

こういう調査によって、国はどんな事をしたのか、時々具体的に調査員に説明をしてくれると、はげみになると思うが……。商業調査の場合、割り当てられた所によって苦勞が違ふ。例えば、バーや飲食店ばかりの所は、開店したばかりの時間にいかなければならないのでむずかしい。この時報酬がみんな同じというのは、不公平に感じる。

〔意見 138〕 男 20後 公務員 準農村部

初めて調査員をやってみて、色々の意味で勉強になったし、同時に諸々の問題がある事を痛感した。やはり、より正しい統計に近づけるには、国民にもっと関心をもってもらふ以外にないのではないかという気がする。申告義務を云々（いきおいそういう気になりがちであるが）より、もっとなんらかの方法で、政治に反映させ、その重要性を、充分に認識してもらふ方向にもっていくのが最善の策ではないかと思う。口で言うのは、たやすいが、そうするのは、多大の経費・歳月を要する事でもあり、実に難問である。（類 4 例）

〔意見 139〕 男 30前 公務員 都市部

調査結果を広く一般に公表し、国民生活の場に生かすようにするとともに、次回の調査の

際、前回の結果を持参できるように取り計ってほしい。

〔意見140〕 女 20後 主婦 県庁所在地

いろいろな統計を取ってきて思うのですが、私達が調査票を回収した事が本当にその統計に役に立っているのでしょうか。少し不安です。この事が大きな役割になるとは思っていますが、少しはそれが知りたいです。かりにも何分の一でもかかわりをもったのですから、それにこれがよりよい生活、社会をつくる源になってくれる事を祈ります。

〔意見141〕 男 70才以上 団体職員 県庁所在地

統計の大切なことについての啓蒙が足りないと思うと同時に、地方自治体の知事、市町村長が統計に関心をもっているか疑しい点がある。

協力者（調査対象者）に対する感謝の念が薄いと思う。したがって調査員の苦勞に対しても理解が薄いのではないか。（類2例）

〔意見142〕 男 20前 公務員 準農村部

問16にあることですが、非協力的な世帯は「自分がいくら調査に協力したところで何になるんだ。俺たちには何の利益もありはしない。政治に生かすとはいうが、俺たち末端までは、来やしない。」という声が多いのです。このような時が、私たちが説明に一番困る時で、調査のための調査でなく、本当に生きた調査にしてもらいたいものです。（類5例）

〔意見143〕 男 70才以上 無職 県庁所在地

①統計が社会全般に親しまれ、信頼され、活用される時代が一日も早く到来することを願っております。市長室、知事室の隣室に統計課が置かれるようにならなければ、役所の統計はという意識は一般社会から消えないでしょう。（類1例）②工業統計調査が翌年の一月中に一年間の数値を求めることの無理が、現場では常に指摘されております。

〔意見144〕 男 50前 自営業 県庁所在地

調査実施には大切な予算（税金）を費しており、早急に結果を反映した行政でなければ意味なし。国会議員の定数決定（改定）に国勢調査結果を利用すれば、アンバランス解消に役立つ筈です。

〔意見 145〕 男 30前 無職 大都市

調査に協力してもその結果が現実の政治に生かされないという不満から、単なる資料作成のためのものにすぎないと考えている者も多く、そのような調査は税金の無駄使いであると断ずる者さえある。また調査結果が他の目的に（税金等に限らず）流用されるのではないかと不安を抱く者も少なくないように思われる。（類 2 例）

〔意見 146〕 女 30前 主婦 大都市

統計の為の統計で、くだらない調査が多すぎるため、国の重要な調査まで拒否される事が多くなっているように思います。一度行われた調査は必ず発表し、結果が生かされている事を知ってもらふ事も大切です。

6. 配布品，謝礼などについて

〔意見 147〕 女 40前 主婦 都市部

協力者にお礼をするというのは、気がつかなかったが、今回の調査でタオル程度のお礼に對しても、態度が急に良くなる人が多かったので、助かった。この物が豊かになった時代でも、やはり何かもらうという事が少ない庶民（私も）には、うれしい事には違いないのだと思いました。億単位のワイロが動いている時代、ささやかなお礼を協力者に出してもらえたら、今後随分やりやすいのではないのでしょうか。

〔意見 148〕 女 30後 主婦 大都市

今度の就業構造基本調査は、お願いに行った時、粗品（タオル）を一緒にあげたので、気軽に調査に協力をいただきました。タオルのお礼は気持だけですが、とても効果がありました。今後も続けてほしい。（類 17 例）

〔意見 149〕 男 40前 公務員 準農村部

ご承知の通り、統計調査になかなか協力者がすくなくなりました。私は今年で 8 年間統計員として立廻っています。今一番問題は、①「近所はどこにも行かれたか」 ②（あらゆる調査に物品が送られているがタオルにしても、）「今タオルぐらいか」といわれる。もうすこしなんとか出来ないか。

〔意見 150〕 女 40後 主婦 大都市

説明書なんか立派すぎ、無駄づかいと思う。ガリ刷りなんかで、あと始末して惜しくない物で良い。返す時いつもそう思う。(類2例)

〔意見 151〕 女 40前 主婦 大都市

留守の時は困るので、もう少しお願いの用紙やタオル、鉛筆を入れる袋など増してほしい。たいてい電話はあるけれども、ない家もあるので、連絡に困る時がある。自分の家の収入が少ないので収入の多い所に変って下さいとの意見も一軒あった。

〔意見 152〕 男 50前 会社員 大都市

①調査員の法的立場を明確(強力的／な)にしてほしい。②報酬よりも、協力者に、お礼を多くしてもらいたい。③調査の法的強制力を期待します。

〔意見 153〕 男 40前 公務員 農村部

同じ国の調査でありながら記念品があるのとなない調査があり、その調査が前後して行なわれる時は調査がしにくいので検討してもらいたい。(類2例)

〔意見 154〕 男 20後 公務員 準農村部

もっと調査に対する趣旨というものを、具体的に書いて用紙をつくってもらいたい。夕食時に行く事が多いので、お礼みたいなものを、もうちょっと考えてもらえたら、世帯に入り込む事がたやすくなると思います。

〔意見 155〕 男 30前 公務員 都市部

家計調査や消費実態調査の世帯に対する謝礼が少なすぎる。(類3例)